

【平成30年度 第6号】

H31.3.7 発行

全日制 開陽 だより



全開！

鹿児島県立開陽高等学校全日課程発行
〒891-0198 鹿児島市西谷山1丁目2番1号
TEL (099) 263-3710 / FAX (099) 260-8233



夢・実現に向けて！

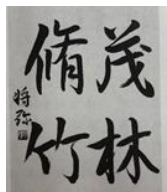
進路報告会

2月12日に、就職・進学等進路が決定した卒業年次生による進路報告会が行われました。4年制大学、短期大学に進学する生徒がそれぞれ二人、専門学校に進学する人が一人、県内に就職することが決まった生徒が二人。それぞれが、一年前の自分、進路で悩んだこと、前進のきっかけなど進路活動を振り返って語り、後輩たちは興味深く聞いていました。

それに先立ち、福祉科では2月1日に介護実習報告会・進路報告会を実施しました。

生徒紹介

313HRの中村将弥さんが、芸術の授業の作品で入賞し、28日に表彰されました。第25回日本高校生デザイングランプリでは奨励賞、第20回鹿児島県高等学校書道半紙展では優秀賞を受賞しました。連盟70周年記念公演（鹿児島県高等学校演劇夏季県大会）でメインキャストに選ばれてもいる中村さんは、大学進学後、表現力を豊かにするために日本語について学び、将来は放送作家になり、様々な場で活躍できる人間になりたいとのこと。



夢への旅立ち！



3月1日に後期卒業式が行われ、平成最後の卒業生、第16期生となる95人が開陽を巣立ちました。今年は中間年次からも一人卒業しました。生徒たちは、思い思いの晴れ着姿で式に臨んでいました。

卒業生代表の長濱帆香さんの言葉です。

卒業式は開陽高校生にとって最も誇らしい日です。入学当初、おびえ、後悔し、違和感を抱いていた私に訪れた変わるチャンスが生徒会でした。「先輩」の存在を知り、生徒会長にもなりました。クラスマッチが年2回開催になったとき、学校を少しずつ変えるってこういうことかと実感できました。

今、生まれたことを恨んで泣いた日をも肯定できます。「あれはあれでよかったのだ」と。

最後に思いを伝えて卒業したい。いつも寄り添ってくださった先生方。一生の友ができた卒年次の皆さん。これからを託せる在校生の皆さん。今まで支えてくれたお母さん。今度は私が力になる。少しの不安と大きな期待を胸に卒業します。きっと大丈夫。また会いましょう。



生徒会だより

2月7日に、後期開陽マッチが開催されました。今回は前期の開陽マッチとは変わり、文化系種目での対戦でした。全校生徒がクラスごとに対抗し競い合うという形式でしたが、和気あいあいとした雰囲気の中でクラスの枠を超えた仲間たちと、共に競技を楽しみ親睦を深めることができました。宝探しやクイズは予想以上の盛り上がりを見せ、企画・準備に携わった実行委員一同、とても嬉しく思っています。

毎年、生徒会で作成している生徒会誌「クローバー」が、今年も完成しました。卒業年次の皆さんと、多くの先生方の協力を得て、開陽高校での思い出や先生方からの温かいメッセージがたくさん詰まった、素敵な一冊になりました。（生徒会 永田優花）



平成31年度進路状況3/7

4年制大学（国公立）	3人
4年制大学（私立）	21人
短期大学（国公立）	2人
短期大学（私立）	5人
専門学校・各種学校等	29人
就職（正社員によるもの）	29人

（人数は延べ数）

